

先日はてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回7月のてがたんは、7月9日(土)で、「路上で生きるガッツな植物」がテーマです。ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、7月3日(日)の9:30からです。今回から基本的に第一日曜で固定になりますのでよろしくお願いたします。

6月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→桃山公園の下の水辺
- 観察日時と天気：2016年6月11日(土) 10:00~12:00 晴れ
- 参加人数：25人(大人20人、こども5人)
- 市民スタッフ：8人 (竹本周平、石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、寒江洋次、染谷迪夫、藤原玉規)
- 鳥博職員：2人 (小田谷嘉弥・美濃亜理彩)

観察した生き物の記録

【コケ植物】

蘚類：ミスゴケの一種、スギゴケの一種、クロゴケの一種／苔類：ゼニゴケの複数種

【その他の“コケ”】

イシクラゲ(ラン藻類)、緑藻の一種、ダイダイゴケの一種(地衣類)、ウメノキゴケの複数種(地衣類)

【鳥類】

カモ科：カルガモ／タカ科：トビ／キツツキ科：コゲラ(声のみ)／カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ(声のみ)／ツバメ科：ツバメ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ウグイス科：ウグイス(声のみ)／メジロ科：メジロ(声のみ)／ヨシキリ科：オオヨシキリ(声のみ)／ムクドリ科：ムクドリ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ／アトリ科：カワラヒワ／ホオジロ科：ホオジロ(声のみ)

【両生類】

ニホンアマガエル

【昆虫】

バッタ目：ヤブキリ、ツユムシ、マダラスズ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ／ゴキブリ目：モリチャバネゴキブリ／コウチュウ目：ナミテントウ、クロウリハムシ、ハムシの一種、オオヒラタシデムシ、シロテンハナムグリ／カゲロウ目：カゲロウの一種／トンボ目：コシアキトンボ、オオシオカラトンボ／ハエ目：ガガンボの仲間、ユスリカの仲間／ハチ目：クロヤマアリ、クマバチ、クロホシハバチ、ベッコウバチの一種／チョウ目：モンシロチョウ、ルリシジミ、ムラサキシジミ、ナミアゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、マイマイガ(幼虫)、ヒメシロモンドクガ

【クモ】

オオシロカネグモ、ジョロウグモ、ゴミグモ

【草の花】

キク科：コシロノセンダングサ、アメリカセンダングサ、セイヨウタンポポ、ハルノノゲシ、オニノゲシ、ブタナ、ヒメジョオン、オニタビラコ、ハキダメギク／スミレ科：スミレ／カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ／ドクダミ科：ドクダミ／ツユクサ科：ツユクサ、トキワツユクサ、／ハエドクソウ科：ハエドクソウ／アカバナ科：アカバナユウゲショウ、コマツヨイグサ／イネ科：エノコログサ、イヌムギ、カラスムギ、ネズミムギ、スズメノテッポウ、チガヤ、コバンソウ／ベンケイソウ科：コモチマンネングサ／キンポウゲ科：ケキツネノボタン／ナデシコ科：ノミノツツリ、ウシハコベ、ツメクサ／アブラナ科：ナズナ

【木の花】

モクセイ科：トウネズミモチ

観察した生き物の記録



今回のがたんのテーマは「探してみよう！コケの世界」でした。普段はあまり意識しないコケの仲間を、その進化や生活に思いをはせながらじっくり観察しました。活動を始めた昆虫の仲間や小鳥のさえずりも観察することができました。



今月の案内人 竹本周平さん、石原直子さん



①鳥博前のコブシは実が大きくなり始めていた



③エノキについていたマイマイガの幼虫



④実を付けていたネズミムギ



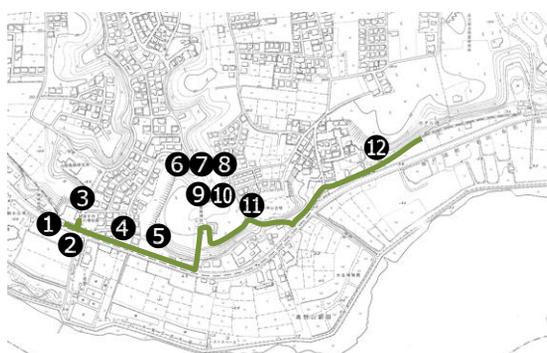
⑤ブロック塀に生育していたダイダイゴケの一種



⑥香取神社の境内に落ちていたキジバトの尾羽



②コンクリートの歩道脇に生えていたギンゴケの仲間（蘚類）。意外と乾燥した環境でも見ることができた。



歩いたルートと観察した生き物



⑦神社の狛犬に生えていた地衣類と藻類。地衣類に霧吹きで水をかけると葉緑体が緑色に浮かび上がった。



⑧ドクダミが一面に群生していた



⑨ウスバカゲロウの幼虫“アリジゴク”の巣



⑩ツバキの樹皮に生育していた地衣類の子実体



⑪ムクノキの樹上にいたヤブキリの終齢?幼虫



⑫アジサイの葉の上のモリチャバネゴキブリ

今月の鳥 エナガ スズメ目エナガ科

エナガは、尾羽の長い小鳥で、我孫子市の林で一年中見られる鳥です。その長い尾は、木の枝を素早く動きながら行動する際にバランスをとるのに役立っているようです。主に昆虫食で、アブラムシの仲間を特に好みます。繁殖期は2月ごろから始まり、コケ植物や地衣類を外装、鳥の羽毛を内装に使って丸い巣を木の又などにつくります。雌が一度の繁殖で産む卵の数は7~12卵と多く、巣立ち後には幼鳥は大きな群れを作ります。幼鳥は成鳥に比べて暗色で、まぶたの色は赤ですが、成鳥ではまぶたはオレンジ色です。これからの季節、「ジュリ、ジュリ」と鳴き交わして飛び回るエナガの家族の群に会うことができるでしょう。



手賀沼遊歩道でも四季を通じて普通に見られるエナガ